

# 第2回 茂原市議会報告会



平成30年2月4日(日)  
13:30～16:00  
市役所市民室

## 目 次

### 【議事概要】

1. 開会のことば 中山 和夫 副議長 .....	p. 3
2. 議長挨拶 鈴木 敏文 議長 .....	p. 3
3. 議会報告会趣旨説明 三橋 弘明 議会運営委員会委員長 .....	p. 3
4. 議会報告・質疑応答	
(1) 常任委員会（平成29年第2回から第4回定例会）の審議について	
・総務委員会 田畑 毅 委員長 .....	p. 3
・教育福祉委員会 山田 広宣 委員長 .....	p. 5
・建設経済委員会 向後 研二 委員長 .....	p. 6
(2) 決算審査特別委員会（平成28年度一般会計決算）の審議について	
ますだ よしお 委員長 .....	p. 8
(3) 市民会館建設特別委員会の審議について	
竹本 正明 委員長 .....	p. 10
5. 意見交換 .....	p. 12
6. 閉会のことば 中山 和夫 副議長 .....	p. 13

## 【議事要旨】

### 1. 開会のことば

中山 和夫 副議長 (略)

### 2. 議長挨拶 (要旨)

鈴木 敏文 議長

茂原市議会では、これまで議案に対する議員個人の賛否の公表や政務活動費のホームページでの公開など、議会改革・議会活性化に積極的に取り組んできた。

平成27年12月定例会では、地方議員のあるべき姿、果たすべき役割、達成すべき使命を明確にした「茂原市議会基本条例」を制定し、平成28年9月定例会からは、広く皆様に議会活動を理解していただくため、本会議のインターネット中継(ライブ・録画)を開始した。

本日の議会報告会は、議会基本条例に基づき、議会の説明責任と市民の多様な意見を把握するための情報交換の場として開催するもので、今回で2回目となる。

議会活動の一部ではあるが皆様に知っていただき、議会がより身近なものに感じてもらえれば幸いである。

### 3. 議会報告会趣旨説明 (要旨)

三橋 弘明 議会運営委員会委員長

茂原市議会は、市民に開かれた議会、市民に信頼される議会を目指し、平成27年12月に議会基本条例を制定し、翌28年4月に同条例を施行した。

基本条例第5条で述べられているとおり、議会の説明責任を果たすとともに、市民の皆様の多様な意見を適確に把握するための情報及び意見交換の場として昨年度に引き続き、本日第2回目の議会報告会を開催することとなった。

### 4. 議会報告・質疑応答

#### (1) 常任委員会(平成29年第2回から第4回定例会)の審議について

##### ○総務委員会

【報告者】田畑 毅 委員長

##### ①所管事項及び委員紹介 (略)

##### ②平成29年度 茂原市一般会計補正予算(第1号)

歳入歳出予算の総額に、1,023万2千円を追加し、総額を29億3,323万2千円とするもの。

自治会でのコミュニティ活動に直接必要な設備等が対象となるコミュニティ助成事業補助金、自治体の自主的・主体的な地域づくり活動を推進するための地方創生アドバイザー事業、県指定文化財の修復事業に伴う文化財保護保存

事業などが増額となった。

委員会では全員異議なく可決し、本会議でも全会一致で可決。

### ③平成29年度 茂原市一般会計補正予算（第2号）

歳入歳出予算の総額に、4億1,751万1千円を追加し、総額を299億5,074万3千円とするもの。

民間保育士処遇改善事業補助金、過年度実施の耐震改修工事で判明した総合市民センターのアスベスト除去工事などが増額となった。

委員からは、防犯設備設置・管理費について、防犯カメラを設置する際のプライバシーへの配慮や民間設置の防犯カメラへの補助制度の検討を求める意見、また、交通安全施設等整備工事について、市民要望への速やかな対応や当初予算への十分な額の計上を求める意見があった。

委員会では全員異議なく可決し、本会議でも全会一致で可決。

### ④平成29年度 茂原市一般会計補正予算（第5号）

歳入歳出予算の総額に、5億7,825万5千円を追加し、総額を305億9,333万1千円とするもの。

県補助金を活用し、市公用車にドライブレコーダーを設置する防犯パトロール用備品購入費、障害児が学校の授業終了後の活動の場として事業所へ通い、生活能力の向上や社会との交流等の必要な支援を受けるための障害児通所支援事業などが増額となった。

委員からは、修繕工事について、十分な事前調査を行うことにより費用削減に努めることを求める意見、市営住宅管理費の訴訟委託料に関連して、市営住宅使用料の徴収方法の見直し及び徴収率の向上を求める意見があった。

委員会では全員異議なく可決し、本会議でも全会一致で可決。

### ⑤その他の案件

専決処分された「台風21号・22号による被害対応に係る補正予算」等の報告3件、条例の制定及び改正8件、千葉県市町村総合事務組合の規約改正に係る協議1件。

12件の議案は、委員会では全員異議なく可決・承認し、本会議でも全会一致で可決・承認。

### 【質疑応答】

問：総合市民センターのアスベスト除去工事について補正予算が計上されているが、アスベストは20年以上前から問題となっており、使用された資材についてはチェックされていたはずである。なぜ今になって工事実施となったのか。

答：前年度に実施の耐震改修工事で存在を把握したものについて、工事を実施するものである。

問：報告については予算だけなのか。決算についての報告は。

答：後ほど決算審査特別委員会の報告で、平成28年度一般会計の決算審査について報告する。平成29年度予算については、まだ決算時期ではないので今回報告はない。

要望：配付資料について、報告内容を箇条書きにして詳細を載せてほしい。

## ○教育福祉委員会

【報告者】山田 広宣 委員長

### ①平成28年度 茂原市特別会計 国民健康保険事業費 歳入歳出決算認定

歳入総額132億7,733万6,958円、歳出総額122億3,897万5,884円、歳入歳出差引額10億3,836万1,074円の黒字決算となった平成28年度決算認定を審議するもの。

審議の中で、受診率が31%と低調な特定健診について、医療機関での個別健診の受診期間延長を医師会と協議中であること、ジェネリック医薬品の使用により医療費の伸びの抑制が図られ、保険財政の安定にも繋がっていること、レセプトの2次点検を実施し、過大請求の防止、適正な支出に努めていることなどを確認した。

委員会では賛成多数で認定し、本会議でも賛成多数で認定。

### ②その他の特別会計決算認定

平成28年度 介護保険事業費及び後期高齢者医療事業費についても、委員会では賛成多数で認定し、本会議でも賛成多数で認定。

### ③財産の取得について

企業版ふるさと納税の申し出を受けて国に申請していた茂原市地域再生計画「スポーツで茂原元気プロジェクト」が認定されたため、市民体育館トレーニング室のトレーニング機器購入の入札を行ったが、予定価格が2,000万円以上であることから議会の議決対象となり、その審議を行うもの。

審議の中で、トレーニング機器の更新により使用料の値上げは行わないこと、機器の更新に併せてトレーニング室の内装改修、利用者のトレーニング状況を見守るカメラシステムなど安全確保を図る工事を実施すること、機器使用中の事故に係る責任の所在について確認した。

委員からは、トレーニング機器の適切な使用や利用者にあったメニューの提供ができるように、インストラクターの配置を求める意見があった。

委員会では全員異議なく可決し、本会議でも全会一致で可決。

#### ④「受動喫煙防止対策についての陳情」並びに「茂原市における、受動喫煙防止対策に関する陳情」

陳情趣旨は、受動喫煙防止対策にあたっては国の議論結果をスムーズに導入するとともに、飲食業界への配慮や各事業者の受動喫煙防止対策の取り組みに理解を求めるもの。

審議の中で、本市の施設において「敷地内禁煙」は市民体育館、保健センター、図書館であり、その他の施設は「建物内禁煙」であることを確認した。

委員からは、健康への影響を考慮して市独自の厳しい基準を設けるべきであるといった意見や、今後、市で受動喫煙を規制する条例を制定する際には、今回の陳情の採択の可否に縛られるべきではないといった意見、喫煙者へのマナー向上の啓発に一層取り組むよう求める意見等、様々な意見があった。

委員会では賛成多数で採択し、本会議でも賛成多数で採択。

#### 【質疑応答】

問：「受動喫煙防止対策についての陳情」は業界団体からのものか、健康維持推進の立場の市民からのものか。

答：業界団体からのものである。

問（再）：飲食店で煙が流れてきて不愉快な思いをする。喫煙しない市民が圧倒的である。業界団体に妥協せず、市民の立場で考えてほしい。

答：受動喫煙は健康に及ぼす影響が大きいと考えるので真摯に対応したい。

### ○建設経済委員会

【報告者】 向後 研二 委員長

①所管事項及び委員紹介 （略）

#### ②茂原市駐車場の設置及び管理に関する条例改正

茂原駅南口公共駐車場に指定管理者制度を導入するため改正するもの。

審議の中で、指定管理者制度を導入することにより、事業者の創意工夫による市民サービスの向上が期待できること、利用料金制を採用することで、市は安定した収入を得ることが可能となり、経費の削減が期待されることを確認した。

委員会では賛成多数により可決し、本会議でも賛成多数で可決。

### ③ 茂原農産物直売所の設置及び管理に関する条例改正

茂原農産物直売所の新設にあたり、指定管理者制度を導入するため改正するもの。

審議の中で、新たな農産物直売所の概要、指定管理者制度における利用料金の設定の仕方、指定管理者のメリットについて確認した。

委員会では全員異議なく可決し、本会議でも全会一致で可決。

### ④ 字の区域及び名称の変更

茂原にいはる工業団地の整備に伴い、大字を「にいはる工業団地」に変更するもの。

委員会では全員異議なく可決し、本会議でも全会一致で可決。

### ⑤ 茂原市農業委員会の委員及び農地利用最適化推進委員の定数を定める条例の制定

法律改正により、農業委員の選出方法が市長の任命制に変わり、農地利用最適化推進委員が新設されたため、新たに条例を制定するもの。

審議の中で、公募に応じた方について、書類審査及び面接を実施して候補者を選定し、農業委員は議会の同意を得て市長が任命、推進委員は農業委員会が委嘱すること、従前の各種団体からの推薦枠は無いことなどを確認した。

委員会では全員異議なく可決し、本会議では賛成多数により可決。

### ⑥ 茂原農産物直売所の指定管理者の指定

農事組合法人「旬の里ねぎぼうず」を指定管理者に指定するもの。

審議の中で、候補者は出荷農家や関係団体との連携体制が確立しているほか、経営ノウハウや利用客との信頼関係も蓄積しており、本市農業振興の核的な存在であることから、指定管理者に適していると判断し、非公募で選定したことを確認した。

委員会では全員異議なく可決し、本会議でも全会一致で可決。

### ⑦ 茂原駅南口公共駐車場の指定管理者の指定

日本パーキング株式会社を指定管理者に指定するもの。

審議の中で、候補者を選定委員会において総合的に評価した結果、特に市への納付金や利用料金の設定等の項目が優れており、他の応募者より高い点数を獲得したため選定されたことを確認した。

委員会では全員異議なく可決し、本会議でも全会一致で可決。

## 【質疑応答】

問：配付資料中、第4回定例会の議案「訴えの提起について」の内容を詳しく教えてほしい。

答：市営住宅内に長期間家財等を放置し、長期に渡り住宅使用料等の支払いを怠っており、再三にわたる納付相談の呼び出しにも応じなかったため、市営住宅の明け渡し及び未払い住宅使用料等、損害賠償金等の請求を求める訴えを提起するものである。

問（再）：使用料滞納は、この1件のみか。

答：案件は1件である。当事者、連帯保証人にも問い合わせたが進展が無いので、裁判所に提起したものである。

要望：報告した内容以外でも、委員会で審議した議案についての質疑には答えてほしい。

## （2）決算審査特別委員会（平成28年度一般会計決算）の審議

【報告者】ますだ よしお 委員長

### ①委員紹介（略）

### ②現地視察

「茂原にいはる工業団地整備事業」並びに「(仮称)茂原長柄スマートインターチェンジ設置事業」の現地視察を行った。

### ③平成28年度の決算規模について

歳入総額300億7,849万9千円、歳出総額290億9,493万5千円、歳入歳出差引額9億8,356万4千円であり、翌年度へ繰り越すべき財源9,701万円を差し引いた実質収支額8億8,655万4千円の黒字決算となった。

歳入の主なものとして、

- ・市税では、償却資産に係る固定資産税の減や税制改正の影響による法人市民税の減等により、1億9,589万円余、1.4%の減。
- ・国庫支出金では、小中学校耐震補強事業が終了したことによる学校施設環境改善交付金の皆減等により、8億397万円余、16.6%の減。
- ・市債では、義務教育施設債の減等により、7億7,130万円の減。

歳入全体では、前年度と比較し、8億4,077万円余、2.8%の減となった。



歳出の主なものとして、

- ・総務費では、財政調整基金積立金の減等により、1億8,009万円余、5.4%の減。
  - ・民生費では、予算の組み替えによる子ども医療費助成事業の皆増等により、5億3,565万円余、5.2%の増。
  - ・衛生費では、子ども医療費助成事業の皆減等により、1億3,516万円余、5.3%の減。
  - ・土木費では、茂原駅前通り地区土地区画整理事業の増等により、5億2,301万円余、22.9%の増。
  - ・教育費では、小・中学校施設整備事業の皆減等により、12億2,848万円余、32.9%の減。
- 歳出全体では、前年度と比較し、8億4,077万円余、2.8%の減となった。

#### ④審査の方針について

平成28年度の施政方針で掲げた施策が計画どおり実施され、市民福祉の向上、生活環境の整備が図られたか、最少の経費で最大の効果をあげ、可能な限りの財源確保と行財政改革の推進が図られたか、市民要望に対し耳を傾け、その実現に努めたか、事務事業の適正な選択に努めたか等に重点を置き、厳正に審査した。

#### ⑤審査の結果及び要望事項について

平成28年度一般会計決算は、賛成者多数により原案どおり可決。

多くの意見・要望が出された。主な内容は以下のとおり。

- ・引き続き財政健全化に努めるとともに、財政調整基金の運用等を検討し、市民生活の向上につながる政策の実行に努めること。
- ・広域組合について事業内容を精査し、負担金の減額に努めること。
- ・「住みたくなる茂原市」となるよう、創意工夫を凝らした特色ある施策の積極的な展開に努めること。
- ・本市の更なる発展のため長期ビジョンを設定し、将来を見据えた施策を講じること。
- ・急速に進展する少子高齢化に対応すべく、財政基盤を強化し、市民福祉の向上に努めること。
- ・引き続き教育施策の充実を図るとともに、財政調整基金を用いた市民サービスの拡充について検討すること。
- ・多額の不用額を出さないよう予算の精査に努めるとともに、安心安全な

まちづくり、市民要望に応える政策の実現に取り組むこと。

- ・少子高齢化が加速する中、医療、介護、教育、子育て等の市民生活に関する施策の更なる充実に努めること。

### 【質疑応答】

問：譲与税・交付金、国庫支出金が大幅に減額となっている理由は。また、歳出で民生費、土木費が増額となっている理由は。

答：交付金、国庫支出金の減額は学校耐震化事業の終了に伴うものである。

民生費の増額は、子ども医療費助成を中学生まで制度化したこと、土木費の増額は、市民からの多くの要望に対応したこと等による。

問：自治体予算は単年度ごとであるが、不用額が8億円と大きすぎる。定例会の度に補正予算が組まれているが、県では年2回程度である。予算の編成について議会ではどのように考えているか。

答：多めの予算組みとなっていることには、議会もおかしいと感じており、精査すべきと言っている。補足として、不用額については一般的に標準財政規模の3～5%以内が望ましいと言われており、本市の標準財政規模は180億円程度なので、9億円までの不用額であれば、その範囲内には収まっている。

## （3）市民会館建設特別委員会の審議について

### 【報告者】竹本 正明 委員長

#### ①委員会設置の経緯

現在の市民会館は1968年（昭和43年）に建設し築50年が経過しており、経年劣化が進んでいる。天井落下の危険性もあるため、平成30年度末をもって閉鎖することとなった。

2009年（平成21年）3月に実施した耐震診断の結果が思わしくなかったため、議会においては6～7年前から市民会館の建て替えに向けた検討をすべきと提言してきた。

これに対して平成28年に庁内検討委員会が立ち上げられ、本格的な取り組みを開始したため、議会としても調査研究及び提案提言を行っていくべく、本特別委員会を設置した。

#### ②庁内検討委員会の検討状況

建設に向けた基本構想策定のアドバイザー企業を選定し、市民、周辺市町村住民、市民会館・中央公民館利用団体へのアンケート調査、利用団体ヒアリング、市内小中高校生を対象としたワークショップを開催した。

また、市民の声を直接聞く場として「みんなで考える新市民会館」と題したワークショップを39名の市民参加で計5回開催し、建設的な意見をいただいた。

### ③委員会での検討・委員からの意見

「(仮称)茂原市民会館建設基本構想(素案)」が示され、各委員から様々な意見があった。

(主な意見)

- ・市民会館に図書館機能や子どもの一時預かり所を検討してはどうか。
- ・市内に圏央道スマートインターチェンジが設置されることから、周辺町村にも建設に参加を打診してはどうか。
- ・中心市街地の賑わいを復活させるべく駅周辺に建設し、子どもからお年寄りまで楽しめる空間をつくってはどうか。
- ・市民会館には広い駐車場または駐車台数の確保が必要である。
- ・会館建設後の運営コストが負担になっている自治体もあるため、市の財政負担が過大にならないよう配慮すべきである。

### 【質疑応答】

問：市民会館建て替えについての法的規制、建設基準等のチェックは行われたのか。

答：現在は第2種住居地域、準住居地域に立地している。現在の場所での建て替えには用途地域の変更が必要となる。

問(再)：用途地域の変更は難しいのではないか。

答：変更できないことはないと考えている。建設場所も未定であるため、種々検討していきたい。

## 5. 意見交換

### 主な質問（回答）と意見（要望）

#### ①【要望】

・市民会館の建設を進めるなら、将来を担う子ども達のために老朽化している東中学校の本校舎を建て替えてほしい。

#### ②【要望・質問】

・議会報告会は年2回程度開催し、民意を汲んでほしい。

・昨年的一般選挙の投票率は前回より3%減の46.2%であった。

投票率の低下は地域社会全体で考えるべき問題だが、議会としてはどう考えるか。

#### 【回答】

・議会報告会の会場が満員になるよう、議会に関心を持ってもらえるよう努力していく。選挙管理委員会では、啓発や広報活動、また期日前投票所を商業施設内に設置することなどを検討している。

#### ③【意見】

・投票率が低いのは、候補者の主張、人柄を知る機会が無いからと思う。演説会を開催してはどうか。

#### ④【質問】

・家庭ゴミを自宅の焼却炉で燃やしているのを見かける。市の対策は。

#### 【回答】

・周知を図っているが、更に徹底させていく。

#### ⑤【質問】

・最近では緊急時の対応等のため財政調整基金を積み増す傾向にあるが、単年度予算であるから当年の予算は市民要求に応えるよう使い切るべきではないか。

#### 【回答】

・市民のために必要であれば、基金を取り崩して対応してゆけばよいと考えるので、市当局に提案していく。

**⑥【質問】**

・議員が提案した議案はあるのか。また、市民の意見をどのように把握しているのか。

**【回答】**

・議員それぞれ地元や講演会などから意見要望を受けて、行政に意見を反映しているのが実態であるかと思う。議員提案の議案は正直なところ多くはない。

議会基本条例を発議したが、その他は国の補助金の要請、増額要望等を色々な形で議員発議という形で出している。

議員には執行権はないが、議会で市民の意見を要望している。

**⑦【質問】**

・概算で茂原市の予算は300億円、地方債は30億円である。このことを議会では、どう考えているか。

**【回答】**

・事業によって市債は変化する。実質公債費比率18%以下であれば起債は可能であるので、その範囲内にあると認識している。今後も市債を活用し、事業を行っていくこととなると思う。

**6. 閉会のことば**

中山 和夫 副議長 (略)